

フランス税関の2012年の模倣品差止件数は大幅減少

2013年3月18日

JETRO デュッセルドルフ事務所

フランス経済財政省は、3月1日、2012年の税関の年次報告書を公表した。この中で、2012年の模倣品の差止件数が460万件にとどまり、2011年の890万件に比べて大幅に減少したことが明らかとなった。

フランス税関の年次報告書によると、この減少は、欧州連合司法裁判所（CJEU）の2011年12月のノキア・フィリップス判決によるものとされている。同判決では、第三国からEUを通過して第三国へ輸送される製品については、EU域内で効力を有する知的財産権を侵害する場合であっても、EU域内での販売が意図されていることが証明されない限り、税関での権利行使は認められないと判示された。同判決の影響によって模倣品の差止件数が大幅に減少したのであれば、第三国からの大量の模倣品が、フランスの税関を通過して第三国へ輸送されたことになる。

フランスの反模倣品団体であるユニオン・デ・ファブリカン（Union des Fabricants）は、本件に関してプレスリリースを発表し、「安全を脅かしかねない違法物品が欧州域外の消費者に流通し、その結果、欧州企業の輸出市場に寄生することを憂慮する。」と述べている。

－ フランス経済財政省のプレスリリース（フランス語）は、以下参照 －

[La Douane présente ses résultats 2012](#)

－ フランス税関の年次報告書（フランス語）は、以下参照 －

[Le bilan annuel de la douane, résultats 2012 \(PDF\)](#)

－ ユニオン・デ・ファブリカンのプレスリリース（フランス語）は、以下参照 －

[Saisies des douanes 2012: Nicole Bricq, ministre du Commerce Extérieur, annonce la mobilisation du gouvernement pour faire évoluer la législation en faveur de la saisie des contrefaçons en transit dans l'union européenne \(PDF\)](#)

－ ノキア・フィリップス判決に関する欧州知的財産ニュースは、以下参照 －

[欧州連合司法裁判所、EU域内の税関を通過する製品に対する権利行使について判示（2011年12月4日）\(PDF\)](#)

(以上)